《金杉地区町会連合会》

開催日：９月４日（金）

◇避難所の変更・要望について

質問	回答	対応
現在、龍泉西部町会の避難所は柏葉中学校に指定されていますが、災害発生時に昭和通りを横断するには危険であり、特に高齢者は避難所までたどり着けないケースが多く発生してしまうことが懸念されます。 町会内では近くにある旧竜泉中学校に避難したいとの意見が多数でているため、再検討いただけないでしょうか。 もし難しい場合には、高齢者及び障害者の約250名だけでも旧竜泉中学校に避難させてもらえないでしょうか。 また、防災倉庫が町内には足りず、災害時配布する備蓄品、資器材を用意することが困難ですので、倉庫を確保していただきたいと考えております。	現在区には、45カ所の避難所があります。各町会の避難所については、避難想定者数を基に、避難所となる施設の面積や距離、地区などを考慮に入れ、指定しております。本件のように、大きな通りを横断する場合や、距離が少し遠いというご意見をいただくこともございます。 しかしながら、施設の面積や、避難される方々が入ることができない施設を指定することは難しいので、ご理解をいただきたくお願いいたします。 また、区では毎年、自主防災組織の防災団に対し、資器材や装備品などの一部や防災訓練に要する経費の一部を一定の基準により助成しています。防災倉庫についても対象となりますので、ご検討いただければと思います。	—

◇自転車の危険運転について

質問	回答	対応
金杉地区に限らず、台東区全域に共通して、自転車がとても速いスピードで歩道を通り過ぎていくことが多くみられます。 また、イヤホンで耳を塞ぎながらの運転や、携帯電話で会話をしながら運転している場面をよく見かけます。 2018年に下谷で発生した自転車での死亡事故は記憶に新しいと思いますが、そのような危険運転を目にするたびに危機感を感じています。 当時の事故以降も大きく改善が図られたようには感じられないため、過去の同じ過ちを繰り返させないためにも、自転車の危険運転について早急な対策・改善を要望させていただきたいです。 併せて、下谷三丁目交差点は変形した交差点であり、朝や晩の時間帯は特に危険性が高く、解決に向けて早急な対応を強く要望します。	平成30年に自転車同士の接触で亡くなってしまった事故があり、その後も区内では自転車事故が発生している状況です。 区では、自転車事故の防止に向け、区内の全警察署に対し、自転車利用者への注意指導の強化について申し入れを行い、７月に下谷警察署と合同で、自転車利用者向けの啓発活動を実施しました。 今後も、各警察署との連携を図りながら、講習会の開催や様々な広報媒体の活用などにより、自転車利用者への啓発に取り組み、自転車の危険運転防止を図ってまいります。 下谷三丁目交差点については、変則的な形状であり、安全対策が必要なことは認識しております。令和元年８月に下谷警察署と区で立会いを行い、現状を確認しました。ここは、国道と区道の交差点であり、警視庁から国と区へ交差点の一部改良の要請が出ています。再度、区からも国土交通省に申し入れを行うとともに、区道についても必要な対応を行ってまいります。 ※交差点の一部改良について、早期実施に向けて国と協議を進めています。（土木課）	●

◇駐輪自転車の抜本的対策について

質問	回答	対応
歩道・車道を問わず路上の駐輪自転車は、歩行者や車両の通行を妨げ、時には大きな事故に繋がる危険があります。 区では、定期的に巡回や指導を行っていると思いますが、一時的に減った自転車がまた元の状態に戻ってしまいます。 金杉上町町会の方からも「自宅前に停められてとても困っている」との相談を受けております。 最近は、マンションが急増しており、敷地内の駐輪場に停めきれない自転車が道路上に置かれていることが多く、今回の相談も同様のケースとなります。 そこで、区は「路上駐輪自転車の取り締まり」のみではなく、一歩踏み込み、集合住宅等の居住者への啓発活動を率先して行い、未然防止に努めるべきであると考えます。 区長のお考えをお聞かせください。	区では、入谷駅周辺を「指導整理区域」に指定し、放置自転車指導員による指導、撤去を行っています。また、東京都や関係団体と合同で、毎年、「駅前放置自転車クリーンアップキャンペーン」を実施し、放置自転車の防止に向けた啓発活動に取り組んでいます。 マンション前の自転車放置については、総戸数が10戸以上の共同住宅を計画する場合「台東区集合住宅の建築及び管理に関する条例」により、総戸数と同数以上の駐輪場を敷地内に設置することや、管理組合等を通じ、入居者に対し「周辺道路への駐輪禁止」について管理規約で定めるなどの指導を行っているところです。また、シェアサイクルの導入により放置自転車対策やマンション自転車駐輪場問題の解消を目指しています。 入谷駅周辺は「指導整理区域」のため即日移送していますが、放置自転車を見かけた場合は、交通対策課にご連絡ください。 今後も、放置自転車の削減に向け、指導や撤去のほか、区民等への啓発に取り組んでまいります。	―

◇コロナ禍への検証について

質問	回答	対応
今回のコロナ禍では、医療体制や産業構造の脆弱さが露呈されました。 そこで、一度検証を行い今後の拡大防止・再発防止に万全を期していただきたいと考えております。例えば、医療・介護従事者に対してのマスク・ガウン等の備蓄、従事者への抗体・PCR検査の優先的実施、手当等の充実、また区の「避難所運営マニュアル」の見直しも必要かと思われます。	本区では「台東区中核病院運営支援協議会」において、地域医療の中核を担う永寿総合病院の運営支援について協議し、医療提供体制の早期回復と今後の体制強化に向けた支援を行っております。 今後も、区民の皆さまが身近な地域で安心して適切な医療サービスが受けられるよう、地域医療の確保に全力で取り組みます。 感染症防止対策のための衛生資材の備蓄費用など、様々な用途で活用していただくため、介護・障害福祉サービス等事業者に対し、１事業者あたり50万円の支援金交付等を行っております。医療従事者に対しては、区でマスク・ガウン等を一定数備蓄しておりますので、必要に応じて提供いたします。 また、今後、避難所を開設する場合には、感染症対策を十分に行う必要があると考えています。そのため、今までの避難所運営マニュアルに加え、感染症対策を踏まえた避難所運営マニュアルを作成いたしました。避難所運営委員会の皆さまにも周知させていただいておりますので、ご協力をお願いいたします。 区としても、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため様々な対策を講じ、全力で取り組んでまいります。	○